

報告日 令和7年1月9日
報告回次 3日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|---------------------|--------|------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 加東市役所 | | | 代表者名 | 市長 岩根正 |
| 担当者部署(属性) | その他 | 担当者部署名 | 産業振興部農地整備課 | 連絡先電話番号 | 0795-43-0519 |
| 担当者役職 | 主査 | 担当者氏名 | 近藤 良紀 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 673-1493 兵庫県加東市50番地 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | | |
|-------|---------|--|-----------|--|
| 団体名 | 連絡先部署 | | | |
| 担当者氏名 | 連絡先電話番号 | | 連絡先E-mail | |

1-3. 支援を求める内容

| | | | | | |
|----------|---------------------------------------|---------|--------------------------|--|--|
| 支援方法 | 具体的課題への支援 | 事業名（予定） | 農林水産省（農山漁村振興交付金及び土地改良事業） | | |
| 概要 | ①當農者向けのスマート農業の研修 ②市職員向けの行政・地域DXの研修 | | | | |
| 支援を求める分野 | 人材（DX推進のための機運の醸成） 農林水産業 | | | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
|--------|--------------|-------------|------------|-------------------|----------|
| | 有 | 225 | 令和6年12月2日 | 講演 | 実地 |
| | 派遣予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和6年12月2日 | 支援・助言(実地) | 9時00分 | 12時00分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 180 |
| 2-2. | 会場名 | 加東市役所 | 最寄駅 | JR加古川線 社町駅 | |
| 派遣場所 | 所在地 | 加東市社50番地 | 最寄駅からの交通手段 | 市職員が最寄駅まで迎えに参ります。 | |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|------------------------------|---|
| アドバイザー | 澤出 剛治 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に） | 農業分野を先行して進めていく本市の方向性に沿って、他分野への展開していくへの説明があり、他部署の担当者からばかり具体的な内容で評価が高かった。 |
| アドバイザーへの要望事項 | |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | | | 合計人数 | 31人 |
|----------------|-------------------------|-------|----|-------|-----------|
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 | 企業・団体 | その他(学生など) |
| | | 人数 | 31 | | |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|----------------------------|--|
| 事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) | 農業分野については、支援を受けながら、農業者の担い手不足の解決に向け、自動運転技術の活用等を含めた地域社会DXの取組が大きく進もうとしている。一方で、産業、交通、防災その他の分野については、農業分野と同様に地域課題が存在しているはずだが、現時点において課題が明確になっていないことに加え、市全体で地域社会DXに取り組むという機運が醸成されていない。 |
| 支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい) | 先進地や導入事例等をご講演いただくことで、市職員内で地域社会DXに取り組んでいくという機運を醸成し、地域課題を明らかにするきっかけとすること。 |

| | |
|---|--|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 日 時：12月2日（月）10:00～11:30 内 容：次の内容についてご講演いただく。 ①スマート農業の取組状況 ②行政における地域社会DXについて 参加者：希望する職員 約20名が参加 |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 市職員に地域社会DXへ意識を向けてもらい、各分野から検討の兆しがある。 |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない スマート農業及び地域社会DXの意欲向上 |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | これから取り組みを進めていくため、改善されなかったことはありません。 |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 特になし |
| 4-3. 今後の計画 | 最も当てはまるもののリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する 地域課題の抽出を行う |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿 | 地域における課題に対し、デジタル技術を活用しながら地域課題の解決を目指し、生活利便性やまちの魅力を向上させること。 |

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載不可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

